

そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によって、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

## 2015(27)年 週 報

3月 1日  
第1聖日  
第3393号

「神の御力を知る」

聖  
言

また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたがしるることができますように。 エペソ1:18, 19

### 礼拝の恵み 第二〇章 第八部 礼拝の障害

神を礼拝すべきわれわれの仕方を考えたので、今度は主題を消極的な面から見て、礼拝の障害となるものはどんなものがあるか、注意してみよう。礼拝がクリスチャンの最高の任務であることを見て、必ずや、その敵でもが勢力を結集して、信者が神を礼拝しようとするのを妨げるであろう。・悪魔は地下の敵であり、世は外的な敵であり、肉は内的な敵である。こうした障害を数えつくすのは不可能であろう。かれはレギオンだからである。ここには比較的良好にいられているものを二、三あげることができるだろう。こうした障害は事実であって、個人の場合にはその人の霊的生活において、それから信者たちの集団の場合には、その集会としての性格において、あらわれる。こうした礼拝集会の霊的な調子は、出席している各自の霊性によって決定される。この霊的な調子を叙述するのはむずかしいが、しかも非常に現実的であり、霊的な信者たちならすぐ見分けることができる。そこには、神がいますという感覚があり、見えないけれども永遠の真理が存在するという感覚があり、霊を感じず、魂を礼拝に對して用意する静かな畏敬の感覚がある。

(A pギブス「礼拝」より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：F A X (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇二五年二月二日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「知恵と啓示の御霊」

「どうか、私たちの主イエス・キリストの神、すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなた方に与えてくださいますように。」(エペソ一ノ一七)

一ノ一五―二三はパウロの祈りです。どんな祈りでしょうか。それは神を知るための知恵と啓示の御霊があたえられ、心の目がはつきりみえるようになり、召しによつてあたえられる望みと聖徒の嗣業の栄光の富がわかるようにということです。一七節詳訳「(というのは、私は)私たちの主イエス・キリストの神、栄光の父があなたがたに、神について(深く、親しく)知らせて、知恵と啓示(奥義と隠れた事柄の洞察)の霊を与えてくださるよう(常に祈っているのです)。「啓示とはおおわれているものがとられる」とです。悟りや個人的な語りかけ以上のものです。すなわちキリストは永遠に渡つて偉大な計画をもつておられる。私たちはその一部である。キリストはご自身の教会、ご自身の神殿、究極的な意味ではご自身の王国を建てておられる。宇宙の真の富はすべてキリストのものであり、私た

ちも今やキリストのものであり、わたしたちの罪は赦され、キリストのものをすべて受け継ぐ者とされており、すでにキリストとともに王座にすわっているようなものである。さらに、キリストは私たちがこの地上にいる間になすべきよい行いをも与えてくださっている。キリストはご自身の教会を建てあげるいうご自身の目的を達成するために私たちの人生を用いる。とあります。これが啓示であります。知恵と啓示の御霊はこのよう名ことを知る知恵をおおわれているものをとりのぞかれなければなりません。コリントに目におおいかかっている。ベールがか、かっている。モーセが輝いているのでみれなかった。「イスラエル人はモーセの顔を見た。まことに、モーセの顔のはだは光を放った。モーセは、主と話すためにはいつていくまで、自分の顔におおいを掛けていた。」(出三四ノ三五)。イスラエルの民は神様と会つたモーセの顔が輝いていたのでまともに見ることができず、モーセの顔にベールがつけられた。そのように私たちの心にベールがされて、聖書がはつきり読めない。「そして、モーセが、消えうせるものの最後をイスラエルの人々に見

せないように、顔におおいをかけたようなことはしません。

しかし、イスラエルの人々の思いは鈍くなったのです。とい

うのは、今日に至るまで、古い契約が朗読されるときに、

同じおおいが掛けられたままで、取り除かれてはいません。

なぜなら、キリストによつて取り除かれるものだからです。

かえつて、今日まで、モーセの書が朗読されるときはいつで

も、彼らの心におおいが掛かっているのです。しかし、人が

主に向くなら、そのおおいは取り除かれるのです。主は御

霊です。そして、主の御霊のあるところには自由があります。

私たちほみな、顔のおおいをとりのけられて、鏡のよ

うに主の栄光を反映させながら、栄光から栄光はと、主

と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさ

に、御霊なる主の働きによるのです。「コリント…三

一三(一八)

啓示とは神について、イエス・キリストのことについてペール

が外されるのです。いつもキリストとともにキリストの物

語とともに生活することこそ知恵と啓示も御霊の生活せ

す。また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようにな

つて、神の召しによつて与えられる望みがどのようなものか、

聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか。

まきは

高橋正雄兄召天

二月二五日(水)午前八時四五分賛美と御言葉の励ましの

中に召される。

二月二五日(水)午後七時 教会において前夜式

二月二六日(木)午前一〇時半 教会において告別式